

# 緑の国際ボランティア研修 (2019年度)

本研修は、国際緑化活動の重要性や緑の募金が果たす役割について理解を深めることを目指して、タイ国で実施するものです。タイ国では開発行為によって、生物多様性を有する自然林が減少し続けています。タイ国政府による森林政策や違法伐採の撲滅への取り組みは一定の成果を上げていますが、森林減少や劣化に歯止めが効かない状況です。本研修では、地域住民で管理されるコミュニティフォレストの視察、NGO が取り組む植林活動地の視察、植林体験、地域住民との交流活動等を通して、タイ国における森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生の在り方や持続可能な開発についての考察を深めて頂きます。またラジャマンガラ工科大学の学部生がバディとして支援してくれます。

## 【主なスケジュール (予定)】

- 8/7 成田発、タイ国バンコクへ空路移動 (現地集合)
- 8/8 現地大学訪問 (ラジャマンガラ工科大学) 訪問、  
チャイナート県に陸路移動
- 8/9 チャイナート県における森林管理状況の視察、地域住民  
および民間企業 (LAWSON) と協働での植林活動
- 8/10 パトンタニ県に陸路移動、民間企業 (LAWSON) の環境保全  
活動に関する講義受講、ナコーンラーチャーシーマー県へ  
陸路移動
- 8/11 ナコーンラーチャーシーマー県における植林地の視察、  
地域住民と協働での植林活動
- 8/12 パトンタニ県に陸路移動、研修成果発表会、修了式、  
成田へ空路移動 (現地解散)
- 8/13 成田着 (午前)

※ 現地集合・現地解散となりますが、随行スタッフが研修員の渡航便に同行します。



期間 : 2019年8月7日(水)～8月13日(火)

定員 : 8名

費用 : 80,000円(航空券代等も含めた金額)※

※ 本研修は「緑の募金 (<http://www.green.or.jp/bokin/>)」の支援を得て実施します

〆切 : **2019年6月13日(木) 必着**

応募資格 : 国際緑化協力に関心がある方、NGO活動に興味のある方など

応募方法 : HP ([www.erecon.jp](http://www.erecon.jp)) の募集要項に記載する書類をメール・郵送にてご提出下さい。



緑の募金

## 実施者

主催 : 公益社団法人 国土緑化推進機構 (<http://www.green.or.jp>)

共催 : 特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (<http://www.erecon.jp>)

## お問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (ERECON) 担当 : 上野

住所 : 東京都町田市小野路町 2987-1

Tel/Fax : 042-736-8972 E-mail : [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com)



## 国際緑化協力人材養成プロジェクト ～ タイ国 ～

### <タイ国における森林の現状と取り組み>

1940年代に60%を越えていたタイ国の森林率は、開発に伴う森林伐採により1985年には30%を下回りました。1980年代後半からのタイ国政府の森林政策等が功を奏し、2000年以降の森林率は37%前後を維持しています。しかし、森林率には近年増加しているゴム農園等の人工林が含まれており、依然として生物多様性を有する自然林は減少し続けています。タイ国東北部ナコーンラーチャシーマー県でも、違法伐採を含む自然林の伐採や森林の管理不足により、森林減少・劣化が著しい状況です。森林の減少・劣化は炭素固定量や生物多様性を減少させるとともに、地域における土砂災害等の危険性を高めます。また森林減少・劣化は森林資源の減少を招き、森林に生息する野生鳥獣による農作物の食害等を引き起こします。タイ国政府による森林政策や違法伐採の撲滅への取り組みは一定の成果を上げていますが、森林減少・劣化に歯止めが効かない状況です。

地域住民が「参加」して植林・森林保全を行い、そこで得られる利益等が住民に分配され得る仕組みを持つコミュニティフォレストリー（CF）は、地域住民の生活安定と自然環境および生物多様性の保全に大きく貢献しています。そのため、国連食糧農業機関（FAO）は、地域住民の森林及び管理能力を強化することを目標とした Forests, Trees and People Program（FTPP）を1987年より推進し、125カ国の1万以上の組織や個人が取り組むCFを支援してきました。世界で続く森林減少・劣化の現状を鑑みると、CFへの支援の重要性は今後さらに高まると思われます。しかし、CFでは地域住民の負担と利益分配のバランスが難しく、地域住民「主導」によるCFを成功させるには、地域住民の丁寧な育成が重要です。

環境修復保全機構では地域住民主導によるコミュニティフォレストリー（CF）の取り組みを支援し、薪炭材の確保や非木材林産物の収穫を通じた地域住民の生活安定と、自然環境および生物多様性の保全を両立する森林再生・保全システムを根付かせる活動に取り組んでいます。

## … 主催・共催団体紹介 …



公益社団法人  
国土緑化推進機構（NALAPO）

国土緑化推進機構は、国土緑化運動を推進することにより、森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化をはかり、より心豊かな国民生活の実現、日本の文化的発展、さらには地球環境の保全に寄与すること及び国際貢献を目的としています。緑の国際ボランティアでは、青少年が緑の募金国際協力事業地のワーキングツアーに参加し、将来、国際緑地協力の場で活躍できる見識豊かな国際ボランティアを養成することを目的としています。（<http://www.green.or.jp/>）



特定非営利活動法人  
環境修復保全機構（ERECOM）

環境修復保全機構は、タイ、カンボジア、フィリピン、ネパールを中心にアジア諸国における「農業的・都市的開発と自然環境との調和」を目指した環境修復保全に取り組んでいます。また、環境教育啓蒙の活動を通して、現地の人々が自然資源を持続的に利用していただけることを目的として活動しています。（<http://www.erecon.jp/>）